

## 参考資料 2 脳・心臓疾患の労災支給決定件数

第8回 労働政策審議会労働条件分科会  
自動車運転者労働時間等専門委員会トラック作業部会

厚生労働省 労働基準局 監督課

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

# 脳・心臓疾患の業種別支給決定件数

- ▶ 令和3年度の脳・心臓疾患の支給決定件数に占める道路貨物運送業の割合は、32.5%と最も高かった。
- ▶ 脳・心臓疾患の支給決定件数に占める道路貨物運送業の割合は、増加傾向にある。

(厚生労働省調べ)

【令和3年度】 (2021年度)

種類 業種	脳・心臓 疾患
道路貨物 運送業	<b>32.5%</b> (56件)
道路旅客 運送業	0% (0件)
全業種	100% (172件)

【令和2年度】 (2020年度)

種類 業種	脳・心臓 疾患
道路貨物 運送業	<b>28.3%</b> (55件)
道路旅客 運送業	1.0% (2件)
全業種	100% (194件)

【平成21年度】 (2009年度)

種類 業種	脳・心臓 疾患
道路貨物 運送業	<b>22.1%</b> (65件)
道路旅客 運送業	6.4% (19件)
全業種	100% (293件)

+4.2

-1.0

+6.2

-5.4

※ 平成21年度より中分類を集計

# 脳・心臓疾患の職種別支給決定件数

- ▶ 令和3年度の脳・心臓疾患の支給決定件数に占める貨物自動車運転者の割合は、30.8%と最も高かった。
- ▶ 脳・心臓疾患の支給決定件数に占める貨物自動車運転者の割合は、増加傾向にある。

(厚生労働省調べ)

【令和3年度】(2021年度)

種類 職種	脳・心臓 疾患
貨物自動車 運転者	<b>30.8%</b> (53件)
乗用自動車 運転者	0% (0件)
バス 運転者	0% (0件)
全職種	100% (172件)

【令和2年度】(2020年度)

種類 職種	脳・心臓 疾患
貨物自動車 運転者	<b>27.3%</b> (53件)
乗用自動車 運転者	1.0% (2件)
バス 運転者	0.5% (1件)
全職種	100% (194件)

【平成21年度】(2009年度)

種類 職種	脳・心臓 疾患
貨物自動車 運転者	<b>22.1%</b> (65件)
乗用自動車 運転者	5.1% (15件)
バス 運転者	0.6% (2件)
全職種	100% (293件)

+3.5

+5.2

-1.5

-4.2

# 脳・心臓疾患の業種別支給決定件数の雇用者数に対する割合

- ▶ 令和3年度において労災（脳・心臓疾患）支給決定件数と、雇用者数とを対比すると、道路貨物運送業は全業種平均の10.3倍であった。

（「労働力調査」（総務省）及び厚生労働省調べ）

【令和3年度】（2021年度）

	雇用者数	支給決定件数	全業種の雇用者数に対する支給決定件数割合を1としたときの比率
全業種	6,013万人	172件	1倍
運輸業, 郵便業	339万人	59件	6.1倍
<b>道路貨物運送業</b>	190万人	56件	<b>10.3倍</b>
道路旅客運送業	39万人	0件	0倍
建設業	395万人	17件	1.5倍
医療, 福祉	861万人	6件	0.2倍

【令和2年度】（2020年度）

	雇用者数	支給決定件数	全業種の雇用者数に対する支給決定件数割合を1としたときの比率
全業種	5,962万人	194件	1倍
運輸業, 郵便業	336万人	58件	5.3倍
<b>道路貨物運送業</b>	188万人	55件	<b>9.0倍</b>
道路旅客運送業	42万人	2件	1.5倍
建設業	402万人	27件	2.1倍
医療, 福祉	837万人	8件	0.3倍

【平成21年度】（2009年度）

	雇用者数	支給決定件数	全業種の雇用者数に対する支給決定件数割合を1としたときの比率
全業種	5,457万人	293件	1倍
運輸業, 郵便業	331万人	85件	4.8倍
<b>道路貨物運送業</b>	174万人	65件	<b>7.0倍</b>
道路旅客運送業	55万人	19件	6.4倍
建設業	419万人	30件	1.3倍
医療, 福祉	599万人	9件	0.3倍